

同志社女子大学大学院 看護学研究科看護学専攻 博士課程(後期) 履修モデル

1. 専攻の概要

「共通科目」の履修をとおして、看護学の研究・教育・実践活動の推進に必要な理論開発および研究手法を修得するとともに研究倫理を深める。「専門科目」においては、各分野において看護現象を科学的かつ専門的な視点からエビデンスを活用・分析し、理論を生成・検証できる能力を醸成する。「特別研究」では自立して高度な研究活動を行うために研究倫理に関する理解を深め、自律的な研究課程を通じ、幅広い視野と深い学識を基盤とした、国際的に通用する独創的で卓越した研究能力を養う。

1) 臨床看護学領域のウイメンズヘルスを専攻する者の場合

(1) 入学までのプロセス

専門看護師（母性看護）取得後、臨床において高度な看護実践や研究指導を行っていた。所属施設内の看護コンサルテーション室のリーダーとなった。

複雑な事例のスーパーバイズも求められる機会も多くなり、さらに論理的思考力や研究力を身につけたいと考え、大学院に進学した。休職制度を利用した。

(2) 修了後の進路

職場に復帰し、看護コンサルテーション室の師長となり、管理業務と共に、教育的・研究的指導を担っている。さらに、患者様にとっての最適なケアについて追求している。

(3) 科目選択

①共通科目（必修 2 単位、選択 1 単位以上） 看護教育特講、看護研究特講、看護研究方法特講Ⅱ

②専門科目（臨床看護学領域・広域看護学領域）（選択 2 単位以上） ウイメンズヘルスト講、公衆衛生看護学特講

③特別研究（必修 6 単位） 看護学特別研究Ⅰ、看護学特別研究Ⅱ、看護学特別研究Ⅲ

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数	
				必修	選択
共通科目		看護教育特講	1 春	1	
		看護研究特講	1 春	1	
		看護研究方法特講Ⅰ	1 秋		
		看護研究方法特講Ⅱ	1 秋		1
専門科目	臨床看護学領域	成人看護学特講	1 春		
		ウイメンズヘルスト講	1 春		1
	広域看護学領域	高齢者・在宅看護学特講	1 春		
		公衆衛生看護学特講	1 春		1
特別研究		看護学特別研究Ⅰ	1 通	2	
		看護学特別研究Ⅱ	2 通	2	
		看護学特別研究Ⅲ	3 通	2	
合計単位数				8	3